

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

事業番号		0110/100575/03/00	事業の種類	5			
年度	19	事務事業名	防犯協会補助金事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名	安全安心のまち推進事業		担当部課名	まちづくり推進室			
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり						
施策名	防犯・交通安全対策		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	相生市防犯協会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域に根付いた防犯活動が活発に展開されている安全で安心な生活環境の確保					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市防犯協会は、「安全で安心のまちづくり」実現のため、防犯組織の拡充強化と総合的な地域安全活動、少年の健全育成及び非行防止活動、覚せい剤等薬物乱用防止活動、けん銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動、高齢者や子どもが被害となる犯罪・事故の防止を重点に推進していく。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	地域安全運動	回	37	37	35	35
	広報紙「明るい窓」の発行	回	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標	17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考	
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.030	0.018	60.0	0.025	138.9	0.015	60.0	
	臨時職員	0.050	0.050	100.0	0.050	100.0	0.050	100.0	
支出内訳	人件費	1,345,462	994,555	73.9	1,084,198	109.0	960,362	88.6	
	事業費	1,186,070	1,031,052	86.9	1,052,090	102.0	1,037,000	98.6	
	合計	2,531,532	2,025,607	80.0	2,136,288	105.5	1,997,362	93.5	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,531,532	2,025,607	80.0	2,136,288	105.5	1,997,362	93.5	
	合計	2,531,532	2,025,607	80.0	2,136,288	105.5	1,997,362	93.5	

4 評価指標

【有効性】

指標名1	地域安全運動回数								
指標説明(式)	地域安全運動回数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標	37	35	94.6	35	100.0	35	100.0	
	実績	37	37	100.0	35	94.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1	地域安全運動1回に係るコスト								
指標説明(式)	(補助金+事業費)÷地域安全運動回数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績	32,056	27,866	86.9	30,060	107.9	29,629	98.6	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	犯罪情報の提供、防犯活動などを重点に活動している団体への支援は妥当である。	3	4
	市の関与の妥当性	市や関係団体と協力し市民生活の安全を推進する活動する団体と協働することは必要である。		
有効性	成果目標(改善)達成度	従来の啓発活動に加えメールによる情報発信(28件)を開始、より多くの人へ啓発が行った。	4	3
	市民サービス	犯罪情報等適切な情報の提供や、防犯啓発活動等による防犯意識の向上は市民に安心感を与える。		
効率性	負担割合の適正化	防犯活動の積極的な実施を維持するために補助金は必要であるが、さらなる適正化に努める。	3	3
	手段の最適性	地域の防犯グループを結成させることにより、より効率的で広範囲での防犯活動が今後も必要となる。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
踏まえた20年	成果目標(改善)達成度	他の事業と協働し、防犯に関する啓発活動の実施等、より有効な啓発を行う。

H19→H20予算反映額

(1) 評価結果を踏まえた19年度の改革改善内容

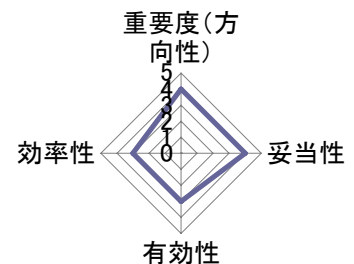
年度の実施	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	街頭啓発だけでなく、地域防犯グループを中心としたコミュニティ単位の啓発を行う。

H18→H19予算反映額

除(1)の改革改善内容

(2) 19年度の実施方針

市・警察・関係団体・地域が連携して効果的な防犯活動を行う。



検討の有無	-
総合指標	20